

◎ よい評価を受けた項目

＜保・教＞ Q1 (適切な情報発信)・Q3 (年間行事予定の変更・提示)・Q7 (給食の提供)

3項目共に保護者A評価が2年連続で90%台を維持している。学校評価での意見や学校運営連絡協議会での提言を踏まえ、即時改善や情報提供などを積み重ねてきた結果であると考えられる。また、各学年や分掌・委員会が適切な時期にだよりを発行し、適切な情報発信に努めてきた結果の現れであると考えられる。

＜保＞Q5 本校で進めている「学校・地域間の関係の強化に向けた取り組み」は十分だと思いますか。

保護者A評価が昨年度の61.5%から今年度は70.8%と9.3ポイント上昇した。学校経営計画における重点項目として掲げている「学校・地域いきいきプロジェクト」について丁寧な説明と周知に努めてきた成果の表れであると考えられる。また、今年度は新たに「調布ブランド」として学校で栽培した花きを活用したしおりを作成し、6月に実施した調布スポーツフェスタで保護者に配布したことで、製品の出来を評価する意見も見られた。

＜保・教＞Q6 オンライン学習や電子教材による家庭学習などの学習環境が整備されていると思いますか。

保護者A評価が昨年度の39.8%から31.6ポイントも上昇した。保護者意見でも「その子その子に合ったアプリを入れて下さっているの、にじまるGIGAを楽しく取り組んでいます」「息子にはとてもよいツールとなっていて感謝しています」などの意見をいただいた。一方で機器の活用方法や必要性そのものについて疑問を感じている意見も多数見られるので、今後も改善に向けた取り組みを継続していく。

＜評価委員会から＞

- ・回収率の高さは調布の良さである。保護者の協力を感謝したい。
- ・コロナ禍においても教育を止めない工夫に感謝している。
- ・想定範囲を広げて、保護者への情報発信をしていくことが大切であるとする。

● 課題となった項目

＜保・教＞Q2 登下校時やスクールバス内の感染症予防策が適切に行われていたと思いますか。

保護者A評価は昨年度の62.7%から8.7ポイント上昇しているが、C評価も25.5%と高い。取り組みの見える化や情報発信などについては一昨年から3年連続の課題として指摘を受け、改善に取り組んできたところであるが、分析を受けた具体的な取り組みが弱かったと言わざるを得ず、次年度に向けて必ず改善していくべき喫緊の課題である。

＜保＞Q4 保護者や児童・生徒のニーズをとらえたキャリア教育がなされていると感じますか。

今年度はキャリア教育リーフレットをまとめ、広く配付をしたところであるが、保護者C評価が10.1%から13.0%に増加している。保護者意見でも「現在の教育内容が設定されているのはわかりますが、卒業後まで視野に入っているかは正直分かりません」などの意見が見られるので、引き続き保護者への丁寧な説明や周知に努めていく必要がある。

＜保・教＞Q5 本校で進めている「学校・地域間の関係の強化に向けた取り組み」は十分だと思いますか。

保護者A評価は70.8%と大きく上昇しているが、教職員A評価との間に18.2ポイントの大きな差がみられる。学校経営計画における重点項目として掲げている「学校・地域いきいきプロジェクト」は着実に推進されているが、副籍交流やトラサポネットなどの活動も含めて総合的に値差が改善されていくよう、保護者にとって分かりやすい取り組みを企画・立案・実施していく必要がある。

＜保・教＞Q6 オンライン学習や電子教材による家庭学習などの学習環境が整備されていると思いますか。

保護者A評価は大幅上昇しているが、保護者・教職員共にB評価が設問の中で最も高い。保護者意見では活用方法や持ち帰りの負担感などに関して厳しい意見が多く見られた。また、教職員からは学校で使用できる機器(タブレット)の不足についての意見があった。情報教育部が中核となって保護者への説明や配備・運用状況の報告などについて引き続き積極的に努めていく必要がある。

令和3年度・4年度 学校評価アンケート(保護者)数値比較

		R3 保護者A評価	R4 保護者A評価	差異	備考
Q1	適切な情報発信	90.7	93.2	2.5	保護者A評価ポイントが2年連続で90%台
Q2	感染症予防策	62.7	71.4	8.7	保護者A評価ポイントが70%台(保護者C評価25.5%)
Q3	年間行事予定の変更・提示	91.3	90.1	-1.2	保護者A評価ポイントが2年連続で90%台(若干差異が見られる)
Q4	キャリア教育	80.7	84.5	3.8	保護者A評価ポイント増(保護者C評価が10.1%⇒13.0%に増加)
Q5	学校・地域間の関係強化	61.5	70.8	9.3	保護者A評価ポイントが70%台(保護者C評価26.1%)
Q6	オンライン学習	39.8	71.4	31.6	保護者A評価ポイント大幅増(半面、保護者B評価は10.6%と項目中最高)
Q7	給食の提供	93.8	95.7	1.9	保護者A評価ポイントが2年連続で90%台
Q8	経営企画室の対応	83.2	87.0	3.8	保護者A評価ポイント増かつ80%台後半

令和4年度 学校運営連絡協議会 学校評価(地域アンケート)まとめ

配布数19 回答数14 回収率74%

		R3	R4	R3	R4
①	本校が知的障害を有する児童・生徒のための学校だということを御存知ですか？	知っている		知らない	
		100%	93%	0%	7%
②	本校の学校だよりやホームページを御覧いただいたことがありますか？	ある		ない	
		83%	78%	17%	22%
③	本校に来校されたことはありますか？	ある		ない	
		42%	43%	58%	58%
④	今後、本校の授業見学をされたいと思いますか？	思う		思わない(わからない)	
		50%	36%	50%	64%
⑤	本校の児童・生徒や教職員と直接接する機会はありますか？	ある		ない	
		92%	71%	8%	29%
⑥	本校が、教職員・保護者・地域・関係諸機関が一体となるテーマ「『地域』に生き、ともに伸びる学校」を掲げ、学校・地域間の関係強化に向けて取り組んでいることを知っていますか。	知っている		知らない	
		75%	64%	25%	36%

令和4年度 学校生活や友人関係に関するアンケート 集計結果

Q	設問	令和3年度 第2回		令和4年度 第2回		令和3年度 第1回		令和4年度 第1回	
		はい	いいえ	わからない	聞き取り不可	はい	いいえ	わからない	聞き取り不可
好きな授業		小低……①国算、体育 ②図工、生単 ③音楽 小高……①国算 ②英語 ③図工 中……①外国語 ②保体 ③音楽	小低……①体育 ②図工 ③生単 ④国算 小高……①体育 ②国算 ③音楽 ④外国語 中……①国数 ②音楽 ③作業 ④外国語						
1	すきな じゅぎょうは なんですか。	—	—	—	—	1.8%	5.8%	7.3%	3.2%
2	てあらいを きちんと やっていますか。	84.8%	80.6%	1.2%	7.1%	4.8%	9.0%	7.3%	3.2%
3	ますくを がんばって つけていますか。	78.2%	85.8%	7.3%	5.8%	6.1%	5.2%	7.3%	3.2%
4	きゆうしよくは すきですか。	84.2%	87.1%	1.8%	3.9%	4.8%	6.5%	7.3%	3.2%
5	ともだちと なかよく していますか。	77.0%	83.2%	2.4%	1.3%	10.9%	12.3%	7.3%	3.2%
6	いやなことをする ともだちは いますか。	2.4%	0.0%	60.0%	72.3%	27.3%	24.5%	7.3%	3.2%
7	せんせいは あいさつを してくれますか。	78.2%	86.5%	0.6%	0.6%	10.3%	9.7%	7.3%	3.2%
8	せんせいは はなしを 聞いてくれますか。	76.4%	81.9%	1.2%	1.3%	12.7%	13.5%	7.3%	3.2%
9	いやなことをする せんせいは いますか。	1.8%	0.0%	64.2%	75.5%	23.6%	21.3%	7.3%	3.2%

令和4年度 都立調布特別支援学校 学校運営連絡協議会 学校評価アンケート結果による改善が必要な課題(保護者・教職員の意識差)とその具体的な方策

1 Q2 登下校時やスクールバス内の感染症予防策が適切に行われていたと思いますか。

保護者A評価は昨年度の62.7%から8.7ポイント上昇しているが、C評価も25.5%と高い。3年連続の課題として取り上げられてきたが、改善に向けた取組の「見える化」や改善そのものが数値的に反映されておらず、アフターコロナに向けての最重要課題であると考えられる。

■ 評価委員会による分析

- ・スクールバスの中の様子を保護者に見てもらう方策を考えていく必要がある。
- ・持続可能な感染症対策の実施及び周知。



令和5年度に改善する具体的な方策

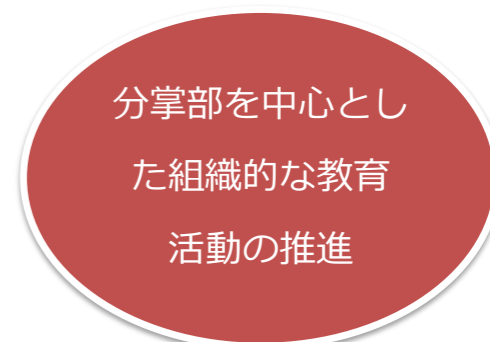
- ・スクールバス車内の感染症対策について学校だよりや生活指導部だより定期的に掲載し、発信を強化する。
- ・「車内換気中」等の表示をスクールバスの目立つところに貼り、感染症対策をアピールする。
- ・スクールバス乗車時に、乗務員が児童・生徒への手指消毒を行うようにする。

2 Q4 保護者や児童・生徒のニーズをとらえたキャリア教育がなされていると感じますか。

今年度はキャリア教育リーフレットをまとめ、広く配付をしたところであるが、保護者C評価が10.1%から13.0%に増加している。一方で、保護者に向けて実施したアンケートでは回答率が約57%にとどまっており、本校におけるキャリア教育そのものに対する保護者の関心を高めていく必要がある。

■ 評価委員会による分析

- ・保護者として、このようなリーフレットを手にする機会が増えることは良い。
- ・チェックシートやアセスメントなどの併用を考えていくとよい。



令和5年度に改善する具体的な方策

- ・キャリア教育リーフレットを2部コピーし、現在の状況と今後目指す力について該当する箇所にマーカーをして個別面談時に配布説明し、保護者と共通確認する。
- ・個別面談記録用紙にリーフレットに沿って話した内容を記載する欄を新設し、面談で必ず説明する。

3 Q5 本校で進めている「学校・地域間の関係の強化に向けた取り組み」は十分だと思いますか。

保護者A評価は70.8%と大きく上昇しているが、教職員A評価との間に18.2ポイントの大きな差がみられる。「学校・地域いきいきプロジェクト」の名称に沿う形で、学校と地域の双方が関係強化をきっかけにして活性化するような仕組みの構築と推進とが求められている。

■ 評価委員会による分析

- ・地域連携自体の質・量は着実に増加している。
- ・副籍や学校間交流についても、コロナ禍にあってオンライン交流など新たな工夫で進められていてよい。
- ・教育活動に結びつけ、持続可能な内容に高めていくとよい。



令和5年度に改善する具体的な方策

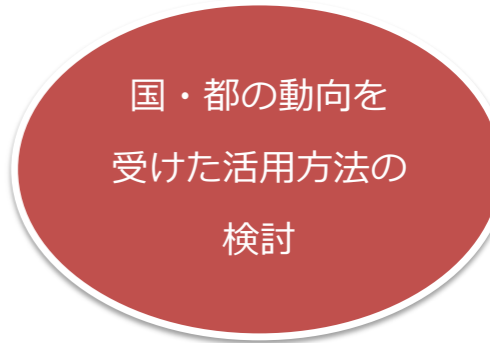
- ・オンライン交流などの持続可能な交流方法について地域指定校とアイデアを出し合う。
- ・家庭、福祉と学校との連携活動として「トライアングルサポートネットワーク」と位置付け、推進する。
- ・「学校・地域いきいきプロジェクト」の実施状況などをまとめたリーフレットを作成し、広く周知する。

4 Q6 オンライン学習や電子教材による家庭学習などの学習環境が整備されていると思いますか。

保護者A評価は大幅上昇しているが、保護者・教職員共にB評価が設問の中で最も高い。保護者意見では活用方法や持ち帰りの負担感などに関して厳しい意見が多く見られた。また、教職員からは学校で使用できる機器(タブレット)の不足について意見があった。

■ 評価委員会による分析

- ・想定範囲を広げて、保護者への情報発信をしていくことが大切。
- ・実態に応じたアプリの活用に向けた検討が必要。
- ・ICT教材の使用効果を測る方法を考えることが必要。



令和5年度に改善する具体的な方策

- ・学年・学校便り等にICT教材について掲載し、発信を強化する。
- ・使用しているアプリの活用状況を校内で報告する研修会などを実施し、児童・生徒の実態に即したアプリについての情報を教員間で共有化する。また、ICT教材の使用効果について事例収集を行い、成果としてまとめる。